

更新・耐震・アセットマネジメント指針に基づいた計画チェックリスト

①水需要の見通し（短期10年、長期30～40年程度）

（将来の水需要見込み）

- 実使用水量ベース及び契約水量ベースでの推計を行い、既存ユーザーの現在及び将来の水需要及び産業立地の想定を踏まえた新規水需要を含めた将来の水需要を示しているか

（施設規模の考え方）

- 現在の施設規模と将来の水需要の間に乖離がある場合、現施設の未利用部分（余剰能力）の考え方について示しているか（必要に応じて施設規模の検討を行うものとするが、特に本格的な更新時に施設規模の検討を行う際には、あわせて契約水量の見直しも検討を行うこと）

②更新需要の見通し（30～40年程度）

（期間・全体）

- 更新需要の見通しは30～40年の検討期間となっているか
- 更新にかかる考え方について明記されているか（時間計画保全または状態監視保全）

（適正規模・性能向上を踏まえた検討）

- 将来の水需要の見通しを踏まえ、適正な施設規模を検討した上での更新需要の算定となっているか
- 既存の施設と同性能ではなく、強靭化等の性能向上を踏まえた更新費用の算定となっているか

（強靭化）

- 強靭化にかかる目標値（例：耐震化率）の設定及びスケジュールを記載しているか

更新・耐震・アセットマネジメント指針に基づいた計画チェックリスト

③財政収支の見通し（30～40年程度）

（期間・全体）

- 財政収支の見通しは30～40年の検討期間となっているか
- 指針に基づいた指標（※）を最低限用いたうえで財政収支見通しを作成しているか
- 更新需要で算出した必要投資額を踏まえて、サステナブルな事業運営を可能とする収支バランスの取れた計画となっているか
（※）収益的収入、収益的支出、純利益、資本的収入、資本的支出、資金残高、企業債残高を指す

（変動要素の加味）

- 物価上昇・金利上昇等の変動要素を加味した見通しとなっているか

（コスト削減策・収益基盤確保策の検討）

- 経営改善の取組としての、コスト削減策及び収益基盤確保策について記載されているか
- 施設規模を見直す際に、契約水量の見直しもあわせて検討を行う場合には、コスト削減策・収益基盤確保策を踏まえたうえで、財政収支の見通しに反映されているか

④計画の見直し

（計画の見直し）

- 10年を目処として、基本計画の実績・進捗及び事業環境変化等を反映させるよう、中長期計画及び次期基本計画において更新需要見通し及び財政収支見通しの見直しを必要に応じて行っているか